

CASBEE-広島（2010年ver.1）
レストヴィラ広島舟入

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										3.1
Q1 室内環境							0.40			2.5
1 音環境						2.6	0.15	2.4	1.00	2.5
1.1 騒音						3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00			3.0	1.00			
設備騒音対策			-				-			
1.2 遮音		3.0	0.40			2.6	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00			3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-			3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20			1.0	0.20			
2 温熱環境								2.0	0.35	
2.1 室温制御						3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温設定		-	-			-	-			
夏・冬の室温設定の差			-				-			
3 外皮性能		3.0	0.40			3.0	1.00			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.60				-			
夏・冬の室温制御の差			-				-			
個別利用			-				-			
利用可能な空間に対する配慮			-				-			
設備・システム			-				-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30					
3 光・視環境						2.1	0.25	3.3	1.00	2.6
3.1 屋光利用				外部に面する窓は、バルコニーのない部分を除き全て掃出し窓		1.8	0.40	4.2	0.30	
1 屋光率		1.0	0.60			5.0	0.60			
2 方位別開口			-				-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40			3.0	0.40			
3.2 グレア対策		2.0	0.40			3.0	0.30			
対策の実施状況			-				-			
2 屋光制御		2.0	1.00			3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.20			3.0	0.15			
1 照度		3.0	1.00			3.0	1.00			
照度の基準			-				-			
3.4 照明制御		-	-	3.0	0.25					
4 空気質環境						3.4	0.25	3.0	1.00	3.2
4.1 発生源対策						3.0	0.50	3.0	0.63	
1 化学汚染物質		3.0	1.00			3.0	1.00			
タバコ・たばこ			-				-			
臭気・カビ			-				-			
放射線・電磁界			-				-			
4.2 換気		3.0	0.30			3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50			3.0	0.33			
2 自然換気性能			-			3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50			3.0	0.33			
給気計画			-				-			
4.3 運用管理		5.0	0.20		-					
1 CO ₂ の監視			-		-					
2 喫煙の制御		5.0	1.00		-					
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.8	0.40	3.6	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ				居室の天井高さ2.5m以上 職員休憩室15.4㎡ 内外装共、パース・モックアップ等にて確認。		3.0	0.60	3.0	0.60	
1 広さ・収納性			-			3.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応			-				-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00				-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.40			4.5	0.40			
1 広さ感・景観			-			4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-				-			
3 内装計画		5.0	1.00			5.0	0.50			
1.3 維持管理			-				-			
1 維持管理に配慮した設計			-				-			
2 維持管理用機能の確保			-		-					
2 耐用性・信頼性						3.0	0.31		-	3.0
2.1 耐震・免震				主要な用途上位3種の2種類以上にC以上を使用		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80				-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.33				-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23				-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23				-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09				-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		4.0	0.15				-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23				-			

2.3 設備の更新	2.4 信頼性		受水槽の分割 屋上にキュービクルを設置	3.2	0.19		-		
	1	空調・換気設備		3.0	0.20		-		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-		
	3	電気設備		4.0	0.20		-		
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-		
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.2	1.00	3.1		
3.1 空間のゆとり	3.1 空間のゆとり		X方向Y方向共、ラーメン構造とし、柱による耐力とした	3.4	0.31	3.4	0.50		
	1	階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60		
	2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40	4.0	0.40		
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50		
	3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-		
	1	空調配管の更新性		専用のPS、DS内に設置	3.0	0.17			-
	2	給排水管の更新性		専用のPS、DS内に設置	3.0	0.17			-
	3	電気配線の更新性			3.0	0.11			-
	4	通信配線の更新性			3.0	0.11			-
	5	設備機器の更新性			3.0	0.22			-
	6	バックアップスペース		設備機器を屋上および外周廊下に設置	3.0	0.22			-
	Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-		3.6
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0		
2 まちなみ・景観への配慮			広島市リバーフロント景観条例協議済み	5.0	0.40		-	5.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30		-	3.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			地域交流スペースを確保。	3.0	0.50		-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			広島市緑化計画確認済み	4.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1		
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3		
1 建物の熱負荷抑制			-	3.0	0.30		-	3.0	
2 自然エネルギー利用			-	3.0	0.20		-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用			-	3.0	0.50		-		
2.2 自然エネルギーの変換利用			-	3.0	0.50		-		
3 設備システムの高効率化			個別分散化 ERR=10	4.2	0.30		-	4.2	
4 効率的運用			-	3.0	0.20		-	3.0	
4.1 モニタリング			-	3.0	0.50		-		
4.2 運用管理体制			個別機器の最適運転	3.0	0.50		-		
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0		
1 水資源保護			-	2.2	0.15		-	2.2	
1.1 節水				1.0	0.40		-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用			-	3.0	0.60		-		
1 雨水利用システム導入の有無			-	3.0	0.67		-		
2 雑排水再利システム導入の有無			-	3.0	0.33		-		
2 非再生性資源の使用量削減			-	3.1	0.63		-	3.1	
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07		-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24		-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			躯体コンクリートに高炉セメントを使用	4.0	0.20		-		
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			外壁・外構床、浴室壁・床のタイル	3.0	0.20		-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	3.0	0.05		-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			-	3.0	0.24		-		
3 汚染物質含有材料の使用回避			-	3.2	0.22		-	3.2	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含まない材料の採用	3.0	0.32		-		
3.2 フロン・ハロンの回避			-	3.3	0.68		-		
1 消火剤			ハロン不使用	4.0	0.33		-		
2 断熱材			-	3.0	0.33		-		
3 冷媒			-	3.0	0.33		-		
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0		
1 地球温暖化への配慮			LEDなど省エネ機種を採用することで、運用概算値の低下を図った	3.6	0.33		-	3.6	
2 地域環境への配慮				2.5	0.33		-	2.5	
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25		-		
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50		-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25		-		
1 雨水排水負荷低減				-	-		-		
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.33		-		
3 交通負荷抑制			駐車22台、駐輪30台を確保	3.0	0.33		-		
4 廃棄物処理負荷抑制			広島市ゴミ協議済み	3.0	0.33		-		
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33		-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40		-		
1 騒音				3.0	0.33		-		
2 振動				3.0	0.33		-		
3 悪臭				3.0	0.33		-		
3.2 風害、日照阻害の抑制				3.0	0.40		-		
1 風害の抑制				3.0	0.70		-		
2 日照阻害の抑制				3.0	0.30		-		
3.3 光害の抑制				3.0	0.20		-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70		-		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30		-		